



もっと知りたい！
コンテンツ

この教科の“これはすごい！”

デジしゃか
デジタル社会科資料集

【デジしゃかコンテンツ】
デジタル地球儀



ブラジルって
どこにあるの
かな？



日本からインドの
距離って、どのく
らい？

2021年度より、社会科資料集の教師用付録としての「デジしゃか」に、資料集の紙面がそのままデジタルになった「デジタル社会科資料集」の機能が搭載されます。

【社会】国と国との距離が、視覚的に分かる！



大阪府富田林市
伏山台小学校
大迫先生

デジしゃかに、地球儀がでますよね。あれは画期的で大変使いやすかったです。他の地図アプリにはない機能がたくさん詰まっていた。例えば国と国との距離を一瞬で計算してくれますよね。子どもたちも、“日本からブラジルってこんな遠いんだ”と盛り上がりましたし、世界の国や地形について興味を持っていました。それぞれの国の概要も表示されていましたね。子どもたちがインターネット検索で調べると、情報が多すぎて本来調べたいことに行きつくまで時間がかかってしまう、必要なことを的確に見つけられないという課題が生まれますが、デジしゃかはコンパクトにまとめているのがいいですね。

【社会】資料提示がより効果的に！



東京都東村山市
野火止小学校
福井先生

デジしゃかに資料集のイラストが用意されているので、それを大きく掲示できるし、いくつかの資料を比較して表示できる機能もあるのがよいですね。教師が拡大コピーしたり、2枚並べてスライドをつくらたりする手間が少ないので、とてもありがたいです。

【国語】苦手な漢字を選んで学べる！



大阪府富田林市
伏山台小学校
大迫先生

いちばんよいと思ったのは、「漢字書きマスター」です。子どもたち自身が漢字テストの前に勉強したい漢字を選択できて、学習を進められるところは有効でした。タブレットを使うことに対する興味関心は高いです。

書き順を判定するコンテンツがありますよね。子どもたちは一人ずつ進めている中で、“ブーツ”という音で、「あ、この書き順、違うんだ」と、その場で間違いに気づくことができました。私が一人ひとりの書き順が正しいかを見ることは難しいですが、デジ漢がしっかり子どもたちの書き順を確認してくれるのはタブレットの強みだと感じています。

デジ漢
デジタル漢字ドリル

【デジ漢コンテンツ】
漢字書きマスター



【国語】タブレットの魅力は学習意欲！



山形県米沢市
窪田小学校
阿部先生

やはり習熟度に差があるので、低位の子であれば漢字を書くとか見ること自体に抵抗があるんですけど、タブレットを使うことによって緩和されるようです。また、いつもだったら先生が○付けするのが、デジ漢だと“ピンポン”と音が出るので子どもたちも喜んでいました。

褒められるということが今の子どもたちは少ないので、ピンポンと聞こえてくる様子を見て、周りの子も自分もがんばろう！と思ってやっていたようです。